

考えをもとにして出た方法を提示

(自分なりの考えを黒板に出てる。)理由と方法

C <sub>20</sub>	C <sub>8</sub>	C <sub>19</sub>	C <sub>4</sub>	C <sub>9</sub>
$\begin{array}{r} 2.4 \\ \times 5.3 \\ \hline 7.2 \\ 120 \\ \hline 127.2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 2.4 \\ \times 5.3 \\ \hline 7.2 \\ 120 \\ \hline 127.2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 2.4 \\ \times 5.3 \\ \hline 7.2 \\ 120 \\ \hline 127.2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 2.4 \\ \times 5.3 \\ \hline 7.2 \\ 120 \\ \hline 12.72 \end{array}$	$\begin{array}{r} 2.4 \\ \times 5.3 \\ \hline 7.2 \\ 120 \\ \hline 12.72 \end{array}$ <p>24と20と0.4に分け</p> $\begin{array}{r} 20.4 \\ \times 5.3 \\ \hline 63.2 \\ 100.2 \\ \hline 106.2 \end{array}$ <p>106.2 + 21.2 = 127.2</p>
$\begin{array}{r} 8.2 \\ \times 2.31 \\ \hline 82 \\ 246 \\ 164 \\ \hline 189.42 \end{array}$	整数は1けたも2けたも同じ	かけられる数が同じ	ひけたらずすので	
整数と同じなら2けたでも3けたも同じ				

計算方法について話し合う

おかしいところは

- T. 質問は、
- C<sub>4</sub> (C<sub>8</sub>に) 1けたも2けたも同じとありますが、なぜですか。
- C<sub>8</sub> 整数だったら、1けたでも2けたでも計算方法は同じでしょう。
- C<sub>17</sub> (C<sub>19</sub>に) かけられる数が前と同じとは、どういうことですか。
- C<sub>19</sub> かけられる数が、小数第1位の小数ということです。
- C<sub>14</sub> (C<sub>9</sub>) どういうふうに考えてやったのですか。
- C<sub>9</sub> 2.4を2と4にばらばらにしました。
- C<sub>14</sub> 
$$\begin{array}{r} 20 \\ \times 5.3 \\ \hline 60 \\ 100 \\ \hline 106 \\ 312 \\ \hline 318 \end{array}$$
 左を指してこの、20と4は、小数だったのが整数になったのですか。
- C<sub>19</sub> あ、んだ。2.4だ。(とあわてて黒板に出て 
$$\begin{array}{r} 4 \\ \times 5.3 \\ \hline 12 \\ 20 \\ \hline 21.2 \end{array}$$
 をうつ)
- C<sub>9</sub> 答えは、どうなんの。
- C<sub>12</sub> そっちもだな。  
(また、出ていって、106+21.2=127.2とする。)
- C全 なっとく。
- C<sub>7</sub> (C<sub>20</sub>に計算をさして)

$$\begin{array}{r} 8.2 \\ \times 2.31 \\ \hline 82 \\ 246 \\ 164 \\ \hline 189.42 \end{array}$$

かけられる数の小数点の下にどうして3が書いてあるんですか。

- C<sub>20</sub> わたしもおかしいとは思いますが、前の時間、0.2×7のとき 0.2と書いてあったから、
$$\begin{array}{r} 0.2 \\ \times 7 \\ \hline 1.4 \end{array}$$
 どこでもいいのかと思って。
- C<sub>5</sub> でも、位はそろえるべきでしょう。
- C<sub>11</sub> そうしたら、式がうんとずれっべした。

○ 計算の方法は見当つたがなぜそうなのか、という理由の見つからない児童がいた。

○ C<sub>9</sub> は例によって図解できた。

○ ちがうと予想した子も、形式が2だんになるから「ちがう」という考えなので、ほんとうは同じであるということがわかった。

○ しらべる段階とみつける段階がいっしょになったような段階になってしまった。

児童の反応が、全く予想がつかなかった。というのは、本時の学習問題が、いきなり数であったため子どももとまどったし、教師もどう引っぱっていいのかとまどった感がある。

この段階の話し合いも散発的な感じで展開されている。

○ 学習問題は、事実を含んだものがよいように思える。本時の問題も一たんおきかえればよかったと思われる。

○ 表記のしかたに子どもは、疑問をもつようである。

数字をかく位置